

誤

正

WF3002 (10km当り)

職 種 区 分	直 接 人 件 費						
	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 師 員
設 計 計 画			3.0	5.0	6.0	3.5	
現 地 踏 査			2.0	2.0	2.5		
路 線 選 定 及 び 主 要 構 造 物 計 画	2.0	2.0	2.5	5.5	7.0		
設 計 図 及 び 関 係 機 関 と の 協 議 資 料 作 成					8.0	14.5	18.0
概 算 工 事 費 算 出				3.0	6.0	8.0	11.0
照 査		1.5	2.0	2.5			
報 告 書 作 成			2.5	5.0	6.0	6.5	
計	2.0	3.5	12.0	23.0	35.5	32.5	32.5

技術員計、訂正

- (注) 1. 設計延長は、主要構造物（トンネル、橋梁、涵渠等）を含む区間を延長とする。
 2. 道路の規格、構造形式等による補正は行わない。
 3. 新設及び改良区間を対象とする。
 4. 設計延長は、成果受取り延長とするが、比較ルートも最速ルートと同様の成果を要求すれば、比較ルートも成果受取り延長に含まれる。
 5. 電子計算機使用料は、直接経費として直接人件費の7%を計上する。

2-1-1-3 標準歩掛の補正

- (1) 地形により下表で割増すものとする。

地 形	割 増 し 率
平 地	0%
丘 陵 地	5
市 街 地 ・ 山 地	10
急 峻 山 地	20

- (2) 暫定計画を行う場合は、標準歩掛を15%割増すものとする。
 (3) 工区ごとに成果品の分割を行う場合は、標準歩掛を5%割増すものとする。

WF3002 (10km当り)

職 種 区 分	直 接 人 件 費						
	主 任 技術者	技師長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 師 員
設 計 計 画			3.0	5.0	6.0	3.5	
現 地 踏 査			2.0	2.0	2.5		
路 線 選 定 及 び 主 要 構 造 物 計 画	2.0	2.0	2.5	5.5	7.0		
設 計 図 及 び 関 係 機 関 と の 協 議 資 料 作 成					8.0	14.5	18.0
概 算 工 事 費 算 出				3.0	6.0	8.0	11.0
照 査		1.5	2.0	2.5			
報 告 書 作 成			2.5	5.0	6.0	6.5	
計	2.0	3.5	12.0	23.0	35.5	32.5	29.0

- (注) 1. 設計延長は、主要構造物（トンネル、橋梁、涵渠等）を含む区間を延長とする。
 2. 道路の規格、構造形式等による補正は行わない。
 3. 新設及び改良区間を対象とする。
 4. 設計延長は、成果受取り延長とするが、比較ルートも最速ルートと同様の成果を要求すれば、比較ルートも成果受取り延長に含まれる。
 5. 電子計算機使用料は、直接経費として直接人件費の7%を計上する。

2-1-1-3 標準歩掛の補正

- (1) 地形により下表で割増すものとする。

地 形	割 増 し 率
平 地	0%
丘 陵 地	5
市 街 地 ・ 山 地	10
急 峻 山 地	20

- (2) 暫定計画を行う場合は、標準歩掛を15%割増すものとする。
 (3) 工区ごとに成果品の分割を行う場合は、標準歩掛を5%割増すものとする。